

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 時間情報コードによる細胞制御システムの解明
2. 研究代表者： 黒田 真也 （東京大学大学院理学系研究科 教授）
3. 中間評価結果

シグナル伝達の相補性とロバストネスに関する成果を報告する (Science 2013) など優れた業績を挙げている。また、トランスオミクスによる多階層ネットワークの再構築に成功した (Cell Report 2014) ことにより、「インスリンシグナルの時間情報コードの解明」に向けて重要な一歩を順調に進めている。わが国においては、トランスオミクスの概念浸透や研究をリードするなど、今後の研究の進展に期待が高まる場所である。

また、我が国のトランスオミクス研究の、要としての役割を果たすべく、優秀な若手研究者を育成・輩出していることは高く評価される。

今後は、着実な成果に立って科学技術イノベーションに貢献すべく、より画期的な概念や手法を構築し、従来のレベルを凌駕する研究を推進されるよう強く期待している。また、病態予測や最適治療といった実用化に向けて、更なる研究の積み重ねと加速も期待している。